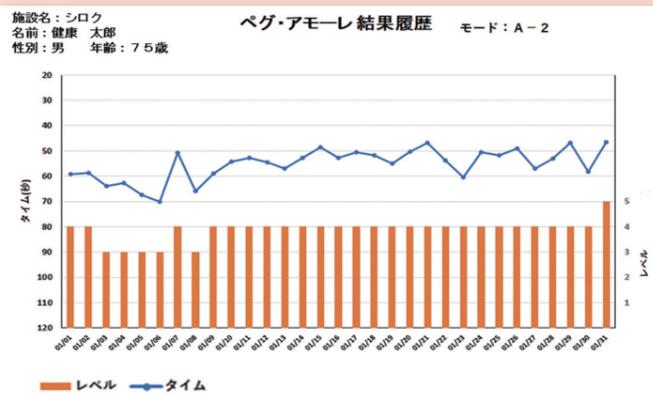


## 主な特徴

- 2分間で簡単スピード測定  
(従来の多くは10分程度かかっていました)
- ひとりで簡単測定、訓練  
(従来の多くは面談形式で行う検査でした)
- 高齢者1000人のデータに基づいて  
5段階評価の★の数で表示します。
- 過去の経緯が把握できるので、  
訓練を楽しく継続的に行う事が出来ます。
- 元気なうちからあたまの健康管理に取り組みます。
- 誰でも気軽にでき、精神的な負担がかかりません。
- 多数の訓練モードがあります。

 ペグ・アモーレをパソコンに接続することにより  
個人別、モード別にペグ・アモーレ結果 履歴の表示/印刷を  
行う事が出来ます。(USB又はWiFiで接続できます。)



## 訓練モード表

各モードの1は練習用、2はフルサイズの配置ランダム型、  
3はフルサイズの配置固定型。(但し、C及びPモードは除く)

**モードA:** 数字による標準モード (1、2、3と順番にペグを移動)

A-1: 3x3, ランダム  
A-2: 5x5, ランダム  
A-3: 5x5, 固定配置(トレイルメイキングテスト Part-Aに似たもの)

**モードB:** 数字・平仮名混在の標準モード (1、あ、2、い、3という順番)

B-1: 3x3, ランダム  
B-2: 5x5, ランダム  
B-3: 5x5, 固定配置(トレイルメイキングテスト Part-Bに似たもの)

**モードC:** 数字による集中力持続モード (ペグを入れて、抜いてを繰り返す)

C-1: 3x3, 全ステージランダム  
C-2: 5x5, 全ステージランダム  
C-3: 5x5, 2ステージごとにランダム再配置

**モードF:** フランカーモード (横に並ぶ記号のうち異なる記号を見つけ出す)

F-1: 3x3, 全ステージランダム  
F-2: 5x5, 全ステージランダム  
F-3: 5x5, 固定配置(テスト用の規則的な物)

**モードM:** 記憶モード (最初のパターンを覚えて、別の作業後に思い出す)

M-1: 3x3, 表示10秒、ゲーム20秒、回答20秒、ランダム3箇所  
M-2: 5x5, 表示10秒、ゲーム30秒、回答20秒、ランダム5箇所  
M-3: 5x5, 表示10秒、ゲーム30秒、回答20秒、固定配置5箇所

**モードP:** ペグ棒固定順序挿入モード (リハビリ向けモード)

P-1: ペグ棒25本を左→右に昇順に挿入  
P-2: ペグ棒25本を左側から上→下に昇順に挿入  
P-3: ペグ棒25本を右→左に昇順に挿入  
P-4: ペグ棒25本を右側から上→下に昇順に挿入

**モードV:** 動体視力モード (モグラたたきのように、光る箇所を追う)

V-1: 3x3, ランダム  
V-2: 5x5, ランダム  
V-3: 5x5, 固定配置(テスト用の規則的な物)

 **WiFi機能付き PEG-A02G ¥288,000(税別)**  
レンタルもあります(貸出期間 基本1ヶ月から)

■内容は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。 ■本誌の一部または全部を無断で複製(コピー)することは著作権法で禁じられています。

販売元

**フィンガリンク株式会社**

〒111-0041  
東京都台東区元浅草二丁目6番6号東京日産台東ビル5F

☎ 03-6802-7145(代表)

FAX: 03-6802-7156

E-mail: info@fingal-link.com



pegamore.com



## 指先を使って脳に刺激

脳のトレーニングが楽しく簡単にゲーム感覚で  
複数の脳部を同時に使って  
毎日継続的なトレーニングを実現!



- 筑波大学大蔵倫博教授と共同開発
- 精神的な負担が掛からない
- 毎日2分から出来る脳のトレーニング習慣
- 脳のコンディションを引き上げる

筑波大学 高細精医療イノベーション研究コア長  
大蔵倫博 教授が発明



開発当時の実際の写真



教授  
大蔵倫博

筑波大学/高細精医療  
イノベーション研究コア長

**最**長寿国となった日本において、介護予防への取り組みは重要です。私たちの研究成果の一つである「指先の巧緻性と認知機能との関連性」を広く皆さまに知って頂き、早期の健康管理に役立てて頂きたいと考えております。本製品は簡単で楽しく誰でも取り組める検査・訓練機能なので多くの高齢者の皆さまに歓迎して頂けるものと確信します。

**筑**波大学大蔵研究室では身体機能と認知機能との関連性の研究を行う中で、身体機能のうちペグを操作する指先の動き(巧緻性)が認知機能と最も強く相関するということを見出しました。その成果の下ペグ操作と「トレイルメイキングテスト\*」を組み合わせることにより画期的な認知機能の測定・評価法が誕生しました。

\*トレイルメイキングテスト

紙の上にランダムに記載された1から25までの数字を鉛筆で線を引ながら順番に辿っていき、その瞬間(秒)で評価する方法。認知機能の評価方法として妥当性や信頼性が高く、臨床分野で広く使われています。



やりやすかった  
やったら閃いてくると思う  
自分を試すには最高だね

最高

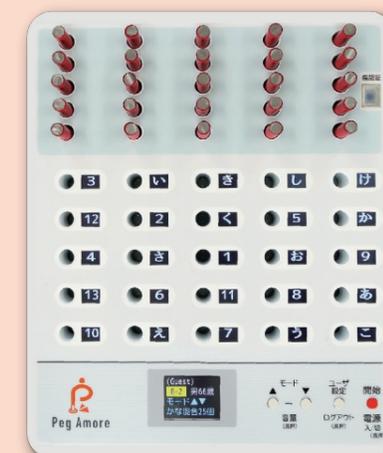


疲れないから  
毎日楽しくできちゃう



Q: タッチパネルで行う製品と何がちがうのか?

A: ペグ・アモーレと似たような物に、タッチパネルのついたタブレットやスマートフォンのアプリがあります。これに対してペグ・アモーレはペグを使うことによって脳と直結する指先の動き(巧緻性)を取り入れたことと、認知機能テストとして世界的に広く使用されている「トレイルメイキングテスト」を組み合わせることにより、認知機能の測定精度が高く、トレーニングも楽しく行う事ができるという特徴があります。



Q: どのような場所で使われますか?

- A: 【個人、自治体など】  
認知機能低下の早期発見と向上の期待に
- 【医療機関など】  
認知機能検査のスクリーニング検査の予備調査に
- 【各種高齢者施設など】  
入居者様の認知機能の管理による早期発見及び機能練習と  
娯楽及びコミュニケーションに
- 【リハビリテーション施設など】  
脳機能障害者様のリハビリテーションに